

牧之原台地開拓一五〇周年

牧之原台地開拓年表

年	内容
慶応3((1867)年)	大政奉還
明治2((1869)年)	版籍奉還 徳川藩士駿府新番組 牧之原に入植
明治3((1870)年)	大井川川越し制度廃止 大井川の川越職人 牧之原に入植
明治6((1873)年)	牧之原で初めての茶葉を摘採

牧之原台地開拓の歴史

今年、牧之原台地が開拓されて150周年を迎えます。牧之原台地開拓の歴史は、大政奉還により駿府(今の静岡市)に隠居した徳川慶喜の身辺警護を務める「精鋭隊」(のちの「新番組」)に属する武士たちが、明治2(1869)年の版籍奉還により突如その任務を解かれ、職を失ってしまったことから始まります。中條景昭を中心とする「新番組」の面々は職を失い、同期に職を失った大井川の川越職人らと共に、牧之原台地へ開拓民として入植します。開拓民らは、苦勞と失敗の連続の厳しい状況の中でも粘り強く着々と開拓を進め、入植から4年後となる明治6

(1873)年、ようやく牧之原で初めての茶摘みが行われたといえます。その後、明治10(1877)年ごろには、牧之原台地の500町歩(1町歩はおよそ1ヘクタール)が開墾され、明治半ばには、初期の開拓者から地元農家が開拓の主役に代わりました。大正初期には、北は島田市から南は御前崎市に至る、全国有数の牧之原大茶園が築かれました。

牧之原台地は、先人たちの絶え間ない努力により開拓されたのです。14年ぶりに献上茶謹製事業に取り組みます。来年の第62回献上茶謹製事業に、静岡牧之原茶として14年ぶりに取り組みます。

14年ぶりに献上茶謹製事業に取り組みます

来年の第62回献上茶謹製事業に、静岡牧之原茶として14年ぶりに取り組みます。

2019年は、牧之原台地が開拓されてから150周年の年です。開拓の歴史と、14年ぶりに取り組む「献上茶謹製事業」についてお知らせします。お問い合わせ お茶振興課 大石 ☎(53) 2621

現在の牧之原台地



大会

GOSSEN CUP スウィングビーチ牧之原国際女子オープンテニストーナメント
一球にかける思いがコートにある

問い合わせ 観光課 水嶋 ☎(53) 2623

環境

水環境を守る合併処理浄化槽
法定検査を実施しましょう
問い合わせ 環境課 森田 ☎(53) 2609



2018年大会シングルス優勝の小堀選手(左)と準優勝の波形選手(右)

「GOSSEN CUP スウィングビーチ牧之原国際女子オープンテニストーナメント」は、日本女子選手が世界で活躍することを願って創設された、国内外のメジャー大会へ出場するための登竜門となる国際大会です。本大会は今年で27回目を迎え、今年の全英オープンテニス女子ダブルスで優勝したスウェーデン選手(台湾)は、平成20年と平成21年のシングルスで連覇を成し遂げています。今年も世界中から多くの選手たちが集まってきました。自由に観戦できますので、ぜひ会場に足を運んでみてください。

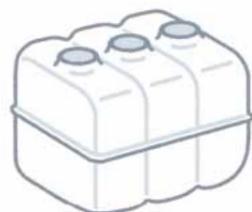
大会概要

大会名称	GOSSEN CUP スウィングビーチ牧之原国際女子オープンテニストーナメント
開催期間	[シングルス] 予選=10月7日(日)~8日(月) 本戦=10月8日(月)~13日(土) [ダブルス] 本戦=10月8日(月)~12日(金)
会場	静波リゾートホテル・スウィングビーチ
試合種目	[シングルス]=本戦32人(予選32人) [ダブルス]=本戦16組
試合方法	3タイブレークセットマッチ (シングルス予選とダブルスファイナルは10ポイントタイブレーク)
入場料	無料
主催	牧之原国際女子オープンテニス実行委員会
会場問い合わせ	静波リゾートホテル・スウィングビーチ ☎21717
大会ホームページ	http://www2.tokai.or.jp/takase.tennis.p/gosencup.htm

*大会以外にも、プロのコーチによるテニスクリニックなどもありますのでお問い合わせください。
*個人協賛(サポーター)には、協賛記念品を差し上げます。



家庭から出るし尿や生活雑排水を処理する浄化槽は、年1回法定検査を受検することが義務付けられています。法定検査(11条検査)とは、浄化槽の健康診断のようなもので、保守点検や清掃などの維持管理が適切に行われ、きれいな水が放流されているかを検査します。(保守点検や清掃とは異なります)法定検査を受けていない家庭は、水環境を守るために必ず検査を受けましょう。



合併処理浄化槽を設置して法定検査を受けていない家庭には、10月に検査機関から受検案内が通知されます。

～ 法定検査に関する問い合わせ ～
静岡県指定検査機関：(一財)静岡県生活科学検査センター
焼津市塩津1番地1 ☎054(621)5030